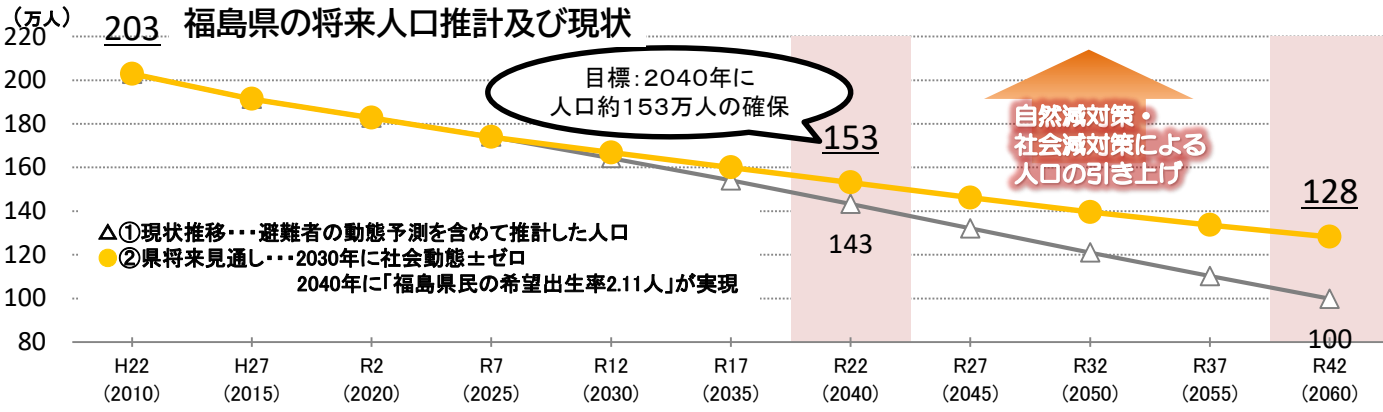


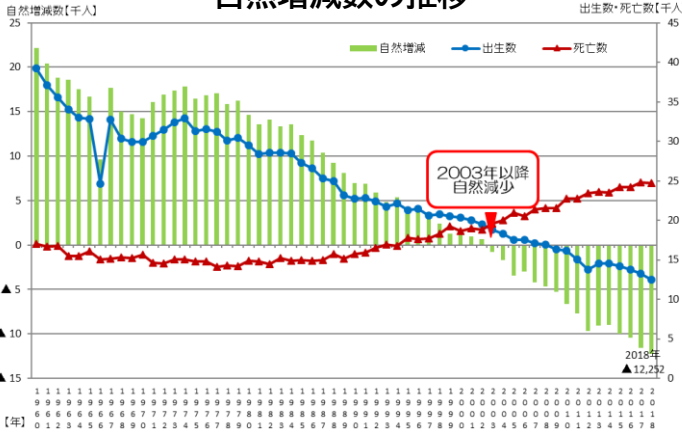
# 地方創生・人口減少に関する課題や取組、方向性について

## [現状・課題]

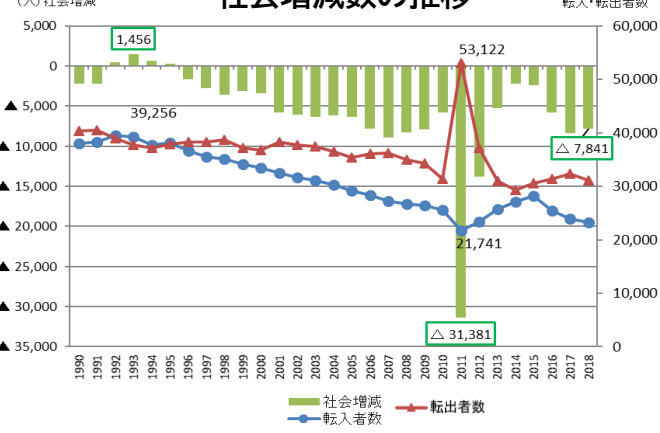
- 県の人口は令和22(2040)年に約143万人、令和42(2060)年に約100万人になると推計される。
- 急激な人口減少へ対応するため、出生率の向上や子育て世帯の増加などの自然増対策と若者の県内定着・還流、移住・定住の促進などの社会増対策について、福島ならではの取組を実践していく必要がある。



### 自然増減数の推移



### 社会増減数の推移



## [4つの目標]

**一人ひとりが輝く社会をつくる**

- 一人ひとりの希望をかかなえる
  - 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援
  - 男女がともに仕事と家庭を両立できる環境づくりの推進
  - 年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず誰もが活躍できる社会の形成

**■健やかな暮らしを支える**

- 健康づくりの推進

**■地域を担う創造性豊かな人を育てる**

- 子どもの頃から地域の魅力に触れあう機会の提供

**魅力的で安定した仕事をつくる**

**■活力ある地域産業を支え、育てる**

- 企業誘致(本社機能、開発・研究拠点等)による雇用の創出
- しなやかで力強い地域産業を育てる

**■魅力ある農林水産業を展開する**

- AI・IoT、ロボット等を活用したスマート農林水産業の推進
- 第三者認証GAPなどの取得推進

**■若者の定着・還流につなげる**

- 若者等の県内定着の促進

**暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる**

**■安全で安心な暮らしをつくる**

- 日々の暮らしに必要な生活基盤(買い物環境、地域医療、教育、交通等)の維持・確保
- 震災の教訓の継承と防災力の向上

**■ゆとりと潤いのある暮らしをつくる**

- 豊かな自然、美しい景観、地域固有の歴史、伝統文化の継承

**■環境に優しい暮らしをつくる**

- 環境・経済・社会の好循環につながる取組の推進

**新たな人の流れをつくる**

**■地域の多様な魅力を発信する**

- 福島の魅力をいかした誘客の促進
- 「ふくしま」で輝いている人の魅力を発信

**■ふくしまへ新しい人の流れをつくる**

- 地域における受入態勢整備への支援
- 多様なニーズを踏まえた福島への移住につながる支援
- 若者等と地域との交流促進

## [施策の方向性]

**ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業**

各県立高校の地域課題探究活動に地域人材や大学生などの若者が参画できる仕組みを構築し、活動の推進を図るとともに、若年層の県内還流および定住を促進する。

**企業の魅力「気づき・発信・体験」プロジェクト**

企業の情報発信力の強化を図るとともに、小中学生や保護者などを対象にさまざまな職業を体験する機会などを提供して県内企業の認知度を高めるなど、人材確保につなげる。

**ふくしまプロスポーツ地域活力創出事業**

スポーツに親しむ機会の創出による、心豊かな暮らしやゆとりと潤いのある暮らしの実現と、福島の子どもの夢の実現、交流人口の拡大を目指し、県内の各プロスポーツチームと連携した事業を実施する。

**「転職なきふくしまぐらし。」推進事業**

県のテレワーク環境の魅力発信とともに、テレワークと暮らしの体験機会の提供やテレワーク導入企業の県内への拠点整備などを支援し、「転職なき移住」を推進する。

## [対応]

令和5年度の主な事業